

駒の里過疎対策プロジェクト支援金事業 自己評価報告書

		評価日	2024 年 1 月 24 日
団体名	NPO法人 多津衛民芸館		
事業名	猪口でつながるプロジェクト、民芸館学校		
事業経費③	383,748 円	支援金額⑨	111,000 円

事業の目的・内容	地域の課題 深刻な過疎化の問題を抱える望月地域ですが、気候危機問題などを抱えるこれからの社会の中で、豊かな自然環境のあるこの地域が守られていくことは、とても重要なことだと考えます。 望月地域には、この環境を気に入って移住してきたり、恵まれた資源を活かして起業や芸術活動をしている方が多いのも特徴です。多津衛民芸館では、これらの方々と繋がり、昔ながらの手仕事や食、農、芸術、これらの「文化」を引き継ぎながらさらに発展させ、子どもから大人まで楽しく学べる場を作りながら、望月の文化が広く認知されるよう発信をしていきたいと考えています。
	事業内容 「猪口でつながるプロジェクト」 8月より、望月の3店舗（Yushi Cafe、The OK bread&pizza、Gusk）で、多津衛民芸館のコレクションである江戸時代の猪口を各店舗の商品の器として使っていただき、民藝や多津衛民芸館について紹介をしていただきました。 また、このプロジェクトのために制作したコースターをその商品で使用していただき、そのコースターを多津衛民芸館に持参していただくと入館料が無料になるという企画を続けています。 「民芸館学校」 ○子どものための手仕事ワークショップ（陶芸、木工、アート） 陶芸、木工のワークショップを実施。小学生の子どもたちが、楽しく真剣にものづくりを体験しました。 ただし、アートのワークショップの回に参加者が集まらず、講師の駒場拓也氏による、アートについてのお話を交えたピアノコンサートの実施のみになりました。 ○「アート・コーヒー・クラブ」（全7回） 美術史から学ぶ、社会とアートとの関わりを考える講習会。コーヒー・ケーキと共に、ディスカッションも交えながら楽しく学びました。 ○歴史講座「中山道望月宿を歩く」 望月宿を3時間かけて巡り、地元の歴史を楽しく学びました。

「猪口でつながるプロジェクト」

8月より各店舗にて随時開始。猪口とコースターを使用いただいています。
現在も継続中。

Yushi Café・・・黒豆コーヒーの器として使用

The OK bread&pizza・・・ランチメニューのつきだし用の小鉢として使用

Gusk・・・コースメニューのデザート用の器として使用

コースター持参の民芸館への来館者が8月～12月で36名。

「民芸館学校」

○子どものための手仕事ワークショップ「陶芸」・・・8月12日（成形）、9月10日（絵付け）開催。

小学校低学年3名、高学年4名、両日ともに午前と午後に分かれて、コップやお皿を作りました。

○子どものための手仕事ワークショップ「木工」・・・9月3日開催。

小学生2名、親子で合計4名参加。山や森、木と人との関わりのお話から、丸太を切り出すところから始めた皿作りをはじめ、箸、バードコール、箸置きを作りました。

○子どものための手仕事ワークショップ「アート」

参加者が集まらず、講師の駒場拓也氏による、アートについてのお話を交えたピアノコンサートの実施のみになりました。（10月1日開催、16名参加）

○「アート・コーヒー・クラブ」（全7回）

9/10 資本主義と慈悲の絵（12名参加） 9/24 人間の献身と苦悩の絵（14名参加）

10/8 帝国と支配の絵（11名参加）

11/5 現代生活、産業、孤独の絵（14名参加）

11/12 大地と労働の絵（13名参加）

11/26 共同体と平和の絵（16名参加）

12/3 神秘と恍惚の絵（10名参加）

○歴史講座「中山道望月宿を歩く」

10月22日開催、12名参加。

事業の様子または成果がわかる写真①

事業の様子または成果がわかる写真②

事業の成果・効果	「猪口でつながるプロジェクト」 それぞれの店舗で猪口や民藝について丁寧に紹介して下さっており、お客様にも民藝の品を楽しんでもらい、大変高評価をいただいているそうです。コースターを持参して多津衛民芸館に訪れた方は今年は36名（コースターが入館無料券となる）、今までは身近ではなかった民藝の品々を見て触れて、歴史を知って喜んで下さる方が多かったです。 「民芸館学校」 子どものための手仕事ワークショップ（陶芸・木工）、アート・コーヒー・クラブ、歴史講座、どの講座も参加者の満足度が非常に高く、皆さん良い学びを得られたようです。 ワークショップでは、陶芸、木工とも子どもたちにとって初めての体験で、講師の話を真剣に聞き、熱心にもものづくりをする姿が見られました。陶芸の子どもたちの作品は、当館の秋のイベントにて展示もさせていただきました。 歴史講座では、3時間かけて望月宿を歩き、地元にこのような面白く深い歴史があったことを再発見し、皆さんとても喜んでおられました。 アート・コーヒー・クラブでは、全7回の日程で毎回若干設けた定員（10名）よりも多い申し込みがあり、進行に影響はないとのことで参加を受け付けました。前回の参加者が次回はご家族や友人を連れて参加される姿があったり、数多く参加されている方々は顔見知りとなって新たなコミュニティの輪ができて、大変有意義な講座だったと思っています。 どの講座も来年もまた来たいとの声が多く、継続して実施していく予定です。 ワークショップのアートの回に参加者が集まらず開催できなかったことが反省点ですが、代わりに開催した講師によるピアノコンサートでは、皆さん大変喜んでおられました。
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 自己評価を記入 「猪口でつながるプロジェクト」・・・3店舗の協力があり、スムーズに実施できました。 「民芸館学校」・・・子どものための手仕事ワークショップ「アート」に参加者が集まらず、開催できなかった点を除いては、全て実施できました。アートのワークショップはハードルが高かったのか、内容や告知の仕方も含めて反省点とし、今後の課題としたいと思います。 陶芸・木工もまた、定員よりは大幅に参加者が少なく、その分丁寧に指導できた点は参加者の満足度に繋がりが良かったものの、やはり参加料金の設定や告知方法について改善していかなければいけないと考えています。
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 自己評価を記入 関わった方には手仕事によるものづくり、文化芸術や歴史に触れる体験や学びの機会となり、期待以上の反応や効果をあげることができたと考えています。
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由（2、3と答えた場合のみ） 3つのワークショップ（陶芸・木工・アート）において、参加者が少なかったり中止になったために材料費が見積もりよりも少なくなったこと／アートのワークショップの講師の駒場さんには、ピアノコンサートのための謝金となったために減額となったこと／保険は、見積もり額よりも安い通販型のものを利用したこと（歴史講座のレクリエーション保険については、事務局が多忙のために申し込みができなかったという反省があります）などが挙げられます。

その他、評価すべき点等	各講座のほとんどの講師陣がその道のプロであることから、内容やその準備が大変高度であり、また参加者に何を体験してもらうかという事や、伝えたいことが明確であるため、実際に参加した人たちが学んだことも非常に有意義で、満足度が高かったと考えています。
-------------	---

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	「猪口でつながるプロジェクト」 現在も進行中であり、来年度も継続して行う予定です。望月地区以外にも取り扱い店を広げる予定があり、民藝の品の良さを発信し続け、また民芸館に足を運んでいただいて、より民藝や手仕事を楽しみ、身近に感じてもらえるように発信していきたいと考えています。 「民芸館学校」 来年度はアートのワークショップのみ精査する予定ですが、他のプログラムは継続し、今後徐々に他のものづくりのワークショップなど、プログラムをしていきたいと考えています。また来年度は社会教育や協同組合の研究家など、望月在住の人材を活かし、一緒に楽しく学び、ともに考えられるような講座も予定しています。 今後も地元にて持続可能な暮らしや事業されている方々と繋がり、昔ながらの手仕事や食、農、芸術、これらの「文化」を引き継ぎながらさらに発展させ、多津衛民芸館が子どもから大人まで地域コミュニティの学びの場となるよう、事業を展開していきたいと考えています。
---------	---



民芸館学校 アート・コーヒー・クラブ



民芸館学校 陶芸ワークショップ



民芸館学校 木工ワークショップ



民芸館学校 駒場拓也 ピアノコンサート



民芸館学校 歴史講座



猪口でつながるプロジェクト ユーシカフェ



猪口でつながるプロジェクト グースケ



猪口でつながるプロジェクト OK ブレッド